

## 北海道にゆかりのあるアーティスト23組が制作した作品を探して見つける アートプロジェクト「made and seek」が札幌PARCOで開催

2023年3月17日（金）から3月26日（日）まで札幌PARCOにて、**北海道出身、活動拠点としている「北海道ゆかりのアーティスト23組によるアートプロジェクト「made and seek」を開催いたします。**

本プロジェクトは、普段アートと触れる機会の少ない人からアートに感度の高い人まで、**年齢や職業、ジェンダーなど、様々なボーダーを超えて楽しむこと**を目指した遊び体験型エキシビションです。アーティストも同様に、様々なジャンルや年齢、職業を超えて同プロジェクトに参加します。



“hide and seek（かくれんぼ）”からの造語であるタイトルを名付け、“作る人”と“探す/見る人”による相互のコミュニケーションを目指し、地下歩道入口直結の地下2階から8階、さらに冬季は封鎖されている屋上スペースなど札幌PARCOの全館に展示される作品を発見する喜びや楽しさを観覧者に提供します。

会期中配布される参加アーティストや作品設置フロアが記載された冊子を手がかりに、来場者は思い思いに館内を探索します。7階には、参加アーティストによる作品やグッズが販売されるスタンドが登場し、即買いが可能です。館内に展示される立体、インスタレーション、写真、映像、サウンド、イラストレーションなど様々なジャンルの作品は、ONLINE PARCOでも購入可能です（一部非売品あり）。さらに、会期中は札幌PARCOの目の前を走る市電内をメインビジュアルのポスターがジャックし、札幌PARCOまでの道中も楽しんでいただけます。

### <artists>

佐藤壮馬、瀬川綺羅、田口虹太、ぼくらとみんなは生きている、yanmar、菅原あさひ、山塚リキマル、エンドウマナ、tovgo、寺尾功司、真吏奈、西村理佐、クミンアヤ、Mai Kimura、grmn、藤倉翼、鷺尾幸輝、sumikawaonsen、大橋鉄郎、菅野碧、Yuichi Yonezawa、Takuya Aoyama、前田明日美

会期：2023年3月17日（金）～2023年3月26日（日）

会場：札幌PARCO（北海道札幌市中央区南1条西3-3） 館内各所

開催時間：営業時間に準ずる

入場料：無料

主催：札幌PARCO

企画制作：札幌PARCO/ie

Instagram : [made\\_and\\_seek](https://www.instagram.com/made_and_seek)

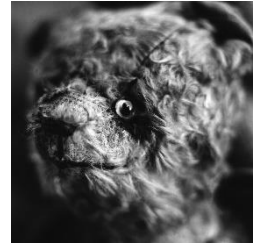
本件に関するお問い合わせ

株式会社パルコ 札幌店・営業課 小林 <[koba-yosi@parco.jp](mailto:koba-yosi@parco.jp)>

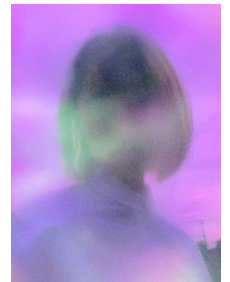
## ■参加アーティスト

**青山卓矢 / Takuya Aoyama**

1987年、滝川市生まれ。美容師としてキャリアをスタートした後、ヘアメイクを学び、TV、CM、広告や雑誌などの仕事を手掛ける。撮影現場での仕事から写真に興味を持ち、2015年から本格的に写真活動を開始。現在北海道を拠点に東京、北京を行き来し活動の幅を広げている

**エンドウマナ / Mana Endo**

1999年生まれ。帯広市出身。星槎道都大学卒業後、現在、同校の研究生として染色や版画、テキスタイルを学ぶ。主にシルクスクリーンを制作手法として用いる。自身が感じる「かわいくて怖いもの」を反映した作品制作を行う。

**大橋鉄郎 / Tetsuro Ohashi**

1994年、札幌市生まれ。主な展覧会に、2022年「霧の向こうから石が」（ギャラリー無量）、同年「(((((((,」（駒込倉庫）、同年「モデルルーム」（ARTBOX）、2023年「Sapporo Parallel Museum」（テラス計画）など。

**菅野碧 / Aoi Kanno**

都内の服飾専門学校を卒業。複数のブランドでの勤務を経て、現在ファッションスクール「me」に在籍しながらファッションデザインを学ぶ。2023年3月に自身初となるコレクションを発表。同年4月、〈ie〉にて展示会を開催予定。



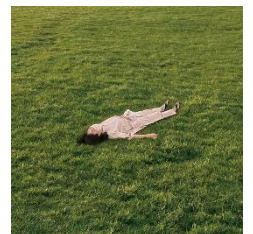
©Mai Kimura

**佐藤壮馬 / Soma Sato**

1985年、北海道生まれ。東京、ロンドンでの活動を経て、2020年より札幌を拠点に活動。近年の主な活動に、第23回文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品(2020)、KYOTO STEAM 2022(京都市京セラ美術館)、第16回 shiseido art egg (2022)など。

**菅原あさひ / Asahi Sugawara**

1999年、札幌市生まれ。同市在住のグラフィックデザイナー。2019年に北海道芸術デザイン専門学校グラフィックデザイン専攻を卒業。2023年1月、〈ie〉2周年企画のグラフィックグループ展「TONER」に参加。



本件に関するお問い合わせ

株式会社パルコ 札幌店・営業課 小林 <[koba-yosi@parco.jp](mailto:koba-yosi@parco.jp)>

## ■参加アーティスト

**澄川温泉 / sumikawaonsen**

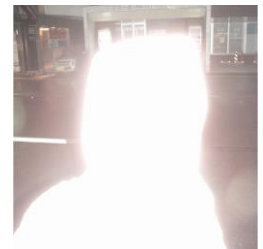
1993年、札幌市生まれ。2013年の冬から、友達と絵を描き始める。2019年、ギャラリー犬養にて、個展「grass door/your voice」、札幌PARCOにて「GHOST WORKS」を開催。

**瀬川綺羅 / Kira Segawa**

札幌を中心に活動し、アクリル絵画、立体、シルクスクリーン等ジャンルを問わず制作。子供が無我夢中で遊び呆ける気持ちを忘れたくないという心情が発想の源泉となっている。将来は公園を作りたい。毎年秋頃に札幌〈TO OV cafe〉で個展を開催予定。

**Mai Kimura**

4月1日生まれ。牡羊座。主な作品集、写真集として、2022年1月『Word』、2023年1月『fortune』など。

**クミンアヤ / Kumin Aya**

刺繍アーティスト。数年前、水曜日のカンパネラだったコムアイさんが、札幌のライブで刺繍ブローチを付けてくれたことに感銘を受け、それをきっかけに現在東京を拠点に活動。個展開催やグループ展などに参加。好きなカルチャーを日常に取り入れ、会話のきっかけとなるような楽しい発想を好み制作している。Okubo Mitsuki、椎名林檎の音楽ジャケットも担当。

**grmn**

北海道函館生まれドイツ育ち。現在札幌市を拠点に活動する映像作家。ミュージックビデオやジャケットデザイン、CMの楽曲制作からティザー編集も担う。

**山塚リキマル / Rikimaru Yamatsuka**

1990年、富良野市出身。「指示待ち世代のカリスマ」との呼び声も高い、SF（ソウルフル）作家/プロ知ったかぶり。大型特殊免許、フォークリフト、猟銃免許、わな猟免許所持。2022年、自費出版雑誌『T.M.I』が小ヒット。ジャンル横断的な著述活動を旺盛に展開し、現在『EYESCREAM』や『Time Out』等で連載。



©Mai Kimura

本件に関するお問い合わせ

株式会社パルコ 札幌店・営業課 小林 <[koba-yosi@parco.jp](mailto:koba-yosi@parco.jp)>

**■参加アーティスト****田口虹太 / Kota Taguchi**

1999年、札幌市生まれ。現在、札幌市在住。Think School制作コース3・4期卒業。2021年、アートスタジオ〈0地点〉を創設。幼少の頃からファッションに関心を寄せ、衣服を通して社会との繋がりを模索し、自身の気持ちの可視化を試みる。3DCGアニメーションと実写を組み合わせた映像を中心に制作を行う。

**寺尾功司 / Koji TERAO**

1983年、東京都生まれ。デザイン事務所、広告代理店など数社を経て、2015年独立。デザイナー、アートディレクターとして広告、ブランディング、WEB、雑誌、装丁などグラフィックデザインを中心に活動中。2021年より東京から札幌に活動の拠点を移し、自身のアートワークの制作を開始。2022年札幌ADC金賞(WEB部門)受賞「FOCUS」→ [teraokoji.jp/focus/](http://teraokoji.jp/focus/)

**tovgo**

digital artist from japan。2D、3D表現に囚われず独自の流動的なシェイプの生成を得意とするグラフィックアーティスト兼DJ。

**西村理佐 / Risa Nishimura**

1992年北海道出身。大学で映画を学び、スタジオとアシスタントを経て写真と映像を中心に現在東京で活動している。

**藤倉翼 / Tsubasa Fujikura**

1977年、北広島市生まれ。広告写真業のかたわら、2003年以来様々な写真作品を発表している。近年はアノニマスな職人のクラフトワークに着目した作品「NEON-SIGN」が写真評論家らに好評を得ている。同作品は2022年、札幌芸術の森美術館に収蔵された。

**ぼくらとみんなは生きている / bokura to minna ha ikiteiru**

大川原暢人、川又健士、迫竜樹の3人からなる「ぼくらとみんなは生きている」は、制作し発表すること、それ自体について考察するグループ/ 共同体であり、またメンバーそれぞれの人生と並走する現在進行形のプロジェクトでもある。共同体として何かを成立させる上での困難、苦しみと向き合うことをテーマとし、そこで発生する力学（青春）を起点としながら、その時ごとに異なるルールを設け活動している



本件に関するお問い合わせ

株式会社PARCO 札幌店・営業課 小林 <[koba-yosi@parco.jp](mailto:koba-yosi@parco.jp)>

## ■参加アーティスト

**前田明日美 / Asumi Maeda**

ジュエリーアーティスト。札幌市出身。東北芸術工科大学在学中、ファッションのクリエイティビティに興味を持ち、インディペンデントなファッションスクール「このがっこう」で学ぶ。ファッションコンテスト「ITS 2019」ジュエリー部門ファイナリストに選出。2022年11月、ファッションブランド rurumu: の2023SSショーセットデザインを担当。

**真吏奈 / MARINA**

アクリル技法で女性を描く現代アーティスト。CONSADOLE GIRLSDAY 2020、Fruity×札幌PARCO、前田敦子さっぽろシネマフェスティバル等のメインビジュアル他、パッケージや書籍のアートワークを手掛けるなど全国で活動中。ART BUSAN、Diaf、Art Expo NYなどアートフェアにも出展。

**yanmar**

札幌出身のアーティスト。SHIBUHOUSEの元メンバー。オリジナルのキャラクター集団「LOST BOYS」を描いた作品を制作。キャラクターを通して人々にポジティブなメッセージを届けることを目的に、様々な展示会やイベントで作品を発表。

**米澤勇一 / Yuichi Yonezawa**

札幌拠点の音楽家。主軸であるDJ活動のほか、ピアノやラップトップを取り入れたライブ、制作を行い、自身の写真によるアートワークも制作。またバンドNOT WONKの加藤修平によるソロプロジェクト・SADFRANKのサポートメンバーとして、バンドセットやレコーディングにも参加している。

**鷺尾幸輝 / Koki Washio**

1997年、北海道出身。北海道教育大学岩見沢校卒業。自己が揺らぎながらもこの世界にあり続けようとする刹那的な姿を捉える作品を制作する。主体の輪郭をなぞるようなアプローチによって、自己と主体の繋がりについて考える。Think School 制作コース4期卒業、北海道大学 CoSTEP修了、〈0地点〉入居者



©2021 washio koki

本件に関するお問い合わせ

株式会社パルコ 札幌店・営業課 小林 <[koba-yosi@parco.jp](mailto:koba-yosi@parco.jp)>